

資源循環の取り組み

前田道路では、建設工事現場から排出されるアスファルト塊、コンクリート塊を主とするがれき類やコンクリートくず等の産業廃棄物を全国にある当社中間処理施設にて受入れをしています。受け入れた産業廃棄物は中間処理施設で破碎することにより、再生骨材および再生路盤材として再生利用しています。再生骨材は主にアスファルト合材工場へ供給し、再生アスファルト合材の材料として使用しています。再生路盤材は土木資材として販売し、広く利用されています。

当社は2040年までに、受け入れた産業廃棄物のリサイクル率100%を目標とし、資源循環の促進と最終処分場の埋立て量を削減することで、環境負荷低減に寄与していきます。

